令和元年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	13	事業No.	350		
事務事業名	家族介護支援事業	会計	介護保険特別会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	長寿支援課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		高齢者福祉計画
	法令・例規等			飯田市家族介護支援事業実施要綱
				飯田市介護用品購入券支給事業実施要綱

事業目的		
	対象	要介護３，４，５の認定を受けた方を在宅で介護している介護者及び市民
	意図	介護者の精神的、経済的負担を軽減するとともに、要介護者が要介護者の在宅生活の継続及び向上を図る。学習会により認知症の理解を深め住み慣れた地域で「自分らしい暮らし」ができるよう支援する。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価) ★印はISO配慮事項	
	1　認知症独居、認知症高齢者世帯などの増加が見込まれる中、家族不在時の安全確保などのニーズは拡大すると考えられます。徘徊端末機の大きさや重さなど認知症高齢者が持ち歩くには不便があります。 2　家族介護支援事業に参加しやすいよう工夫し、運営者・参加者の負担を減らします。

1年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
1　介護保険で対応できない家族不在時の認知症高齢者等の見守りや話し相手をするための、有償ヘルパーの利用料の一部を補助します。また、徘徊のおそれのある高齢者の介護者に対して、位置情報検索システムを利用できる携行器を貸与します。 認知症に対する理解を深めるため認知症学習会の開催します。 2　介護用品購入券支給事業 支給要件に該当する方へ、紙おむつ・尿取りパッドを購入できる券を支給します。（年間６万円分） 3　家族介護支援事業 温泉や食事会、相談会に参加する事で疲労や不安の解消をします。	認知症見守り委託料	304
	徘徊探知システム委託料	76
	認知症講演会	150
	介護用品購入券支給事業	1,200
	家族介護支援事業	3,120
	需用費	8
	その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 実績	平成30年度 計画	令和元年度 計画	令和2年度
認知症見守り利用者数	人	10	10	10	
徘徊探知システム利用者数	人	8	8	8	
認知症講演会参加者数	人	100	200	200	
介護用品購入券支給事業対象者数	人	28	20	20	
家族介護支援事業参加者数	人	404	350	350	

1年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	4,858	（国）地域支援事業交付金（38.5%）　1,853千円 （県）地域支援事業交付金（19.25%）　926千円 （そ）一般会計繰入金（19.25%）　926千円 （そ）徘徊端末機本人負担金　45千円
国庫支出金	1,853	
県支出金	926	
地方債	0	
その他	971	
一般財源	1,108	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	5	5	3	2	20	1	538 0	認知症高齢者見守り事業費
2	5	5	3	2	20	3	1,200 0	介護自立支援事業費
3	5	5	3	2	20	4	3,120 0	介護者交流会事業費
4								
5								
6								
7								